

# 新技術セッションについて(1/2)

## ■新技術セッションの状況

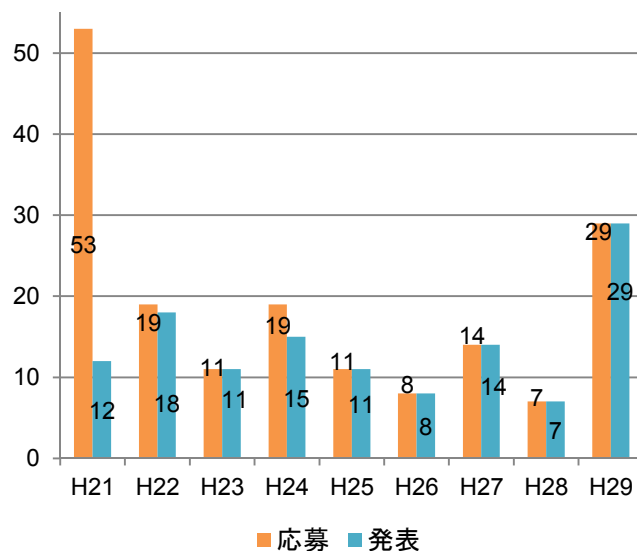
今年度は、発表数が29技術（H28は7）、参加人数は351名（H28は80）でした。

今回は多数の応募をいただき、今までに無い規模で新技術セッションを開催することが出来ました。質疑応答では、質問者から現場目線での質問もあり、限られた時間の中ではありましたが、より活用されるための技術改善や新たな技術の開発に生かせる意見交換の場となったと思います。

アンケート結果から印象に残った技術として記載が多かったのは、「防草を意図したコンクリート境界ブロック」、「リニューアブルパネル工法」、「AL形ダクタイトイル鉄管」でした。また、現場での活用が出来るような技術として記載が多かったのは、「防草を意図したコンクリート境界ブロック」、「デコメッシュ」でした。

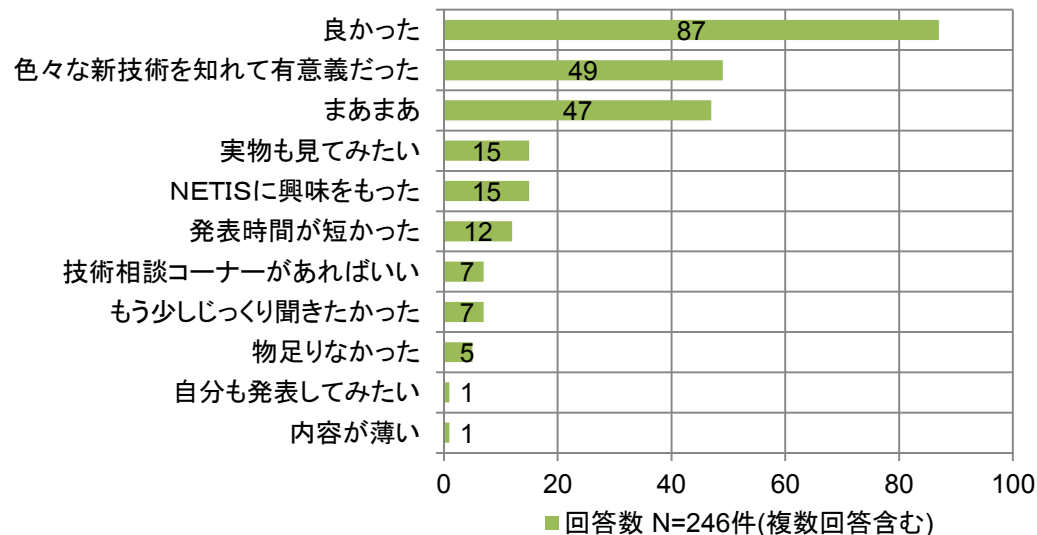
## ■アンケート結果

民間企業からの発表申込数と審査の結果発表して頂いた数



新技術セッションの感想について

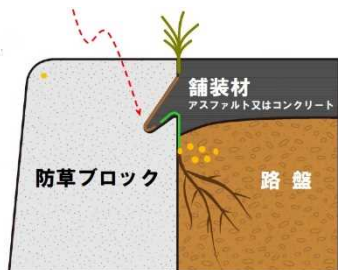
アンケート回答枚数 163件



# 新技術セッションについて (2/2)

## ■アンケートで記載の多かった技術の写真

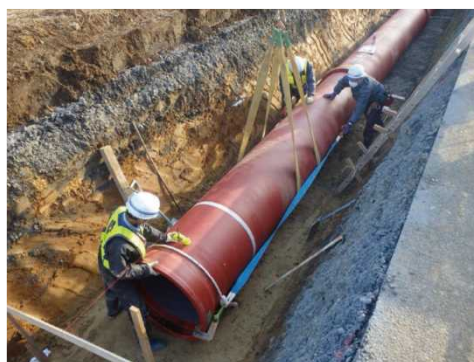
- 防草を意図したコンクリート境界ブロック (NETIS掲載終了技術)  
企業名：株式会社旭ダンケ・山田産業株式会社



- リニューアルパネル工法 (申請中)  
企業名：日本データサービス株式会社



- AL形ダクティル鉄管 (HK-170010)  
企業名：株式会社クボタ



- デコメッシュ (KT-070100)  
企業名：フリー工業株式会社

